

平成28年度 第1回社会福祉審議会 要旨

日 時 平成28年6月23日（木） 午後1時30分～3時

場 所 教育センター4階大研修室

出席者

構成員 前田委員、和泉委員、田中清子委員、田中隆次委員、西田委員、黒田委員、横尾委員、片山委員、小林委員、植田委員、谷郷委員、瀬戸委員、森田委員（順不同）

事務局 岩崎福祉課長、森寄福祉課副課長

委員15名中 13名出席により会は成立

傍聴人の数：0名

1 会長・副会長選出

前田会長、和泉副会長に決定

2 会長あいさつ

（前田会長）

- ・関西国際大学の前田と申します。保健医療学部の老年看護学を専門としています。
- ・本会の目的は、平成29年度から始まる第3期地域福祉計画策定に関する審議となります。
- ・福祉という言葉には、たいへん多くの意味が含まれています。高齢者への福祉、障がい者への福祉、児童への福祉、生活困窮者への福祉などがあります。
- ・委員名簿を拝見しますと、三木市の福祉関係の各団体の代表と公募委員の方に出席いただいております。それぞれの専門のご意見をいただきながら、今後5年間の三木市の様々な福祉施策の根幹となる計画を皆様とご審議することとなります。
- ・今までの第2期地域福祉計画の反省も行き、それを踏まえて、より良い計画にしていきたいと思っております。
- ・これから、来年の3月にかけての長期になりますが、皆様の貴重なご意見とご協力を賜りますようお願いしまして、挨拶とさせていただきます。

3 協議事項

(1) 第3期地域福祉計画の策定方針について

(事務局説明)

- ・ 今までの地域福祉計画は、第1期(平成19年度から平成23年度)、第2期計画(平成24年度から平成28年度)が策定されています。
- ・ 計画は、新しく作るのではなく、今までの計画を見直して作成することを説明。「PDCAサイクル」に基づき、第2期の評価を勘案して第3期のプランを作ります。
- ・ 計画の体系について説明。上位計画に三木市創生計画(平成28年度策定)があり、当計画の下位には、高齢者福祉計画(介護保険事業計画)や障害福祉計画等の福祉関係の計画が位置づけられています。
- ・ 市民の意見を反映させる手段として、2種類の方策を説明。市民の幅広い年齢層の意見を聞くために、年齢層・性別・地域が均等になるように無作為で2,000名のアンケート対象者を抽出し、郵送によるアンケート調査します。また、各公民館地域を単位として、福祉現場の最前線で活躍されている民生委員・児童委員、社協職員、公民館長などの現場の生の声を吸い上げ、実際に体験された経験や意見を聴取するため地域懇談会を開催し、計画に反映させます。
- ・ 5年に一度の計画策定のため、実務に精通したコンサルタント会社に制作委託を予定しています。

(2) 第3期地域福祉計画の策定スケジュール(案)について

(事務局説明)

- ・ 別紙の三木市地域福祉計画策定スケジュール(案)に基づき説明
- ・ 平成29年1月のパブリックコメント実施予定
- ・ 平成29年3月末の完成予定

4 質疑事項

(委員)

- ・ 第2期の地域福祉計画の中に進捗状況が評価してありますが、去年は見直しをしていなかったということですが、第1期計画と第2期計画の内容を評価・勘案して、PDACサイクルを用いて良い所は残して第3期の計画内容について、マニュアルに書いてあることに留意して検討する事と理解して良いですか。

(事務局回答)

- ・ はい。

(委員)

- ・地域福祉計画は、一言で言っても難しいことで、書かれている事も難しいと思います。本当に地域の住民が実際に支援を受ける立場として、このような計画があつて、どういうことになっていて、どこまで理解出来ているのかなと疑問に思いますが、絶えずPRが行われていて、住民の方々に周知・理解されているかどうかが、大きな疑問です。果たして、それが住民まで浸透していくかが、気がかりです。

(事務局回答)

- ・地域福祉計画として5年前には皆様にお知らせしていますが、それが前に出ている状況ではありません。地域福祉計画は、介護事業計画や障害者計画の基になる計画で福祉の方向性は、盛り込まれています。今回注目すべきは、介護保険の事業で、行政からだけのサービスではなくて、共助の部分が多くなってきています。今回のコンセプトに絶対に入れなくてはならないのが共助の部分になります。第2期の計画の評価・反省プラス今回の言われている共助を盛り込みまして介護保険の計画が新しくなっています。地域福祉計画としては、住民の皆様浸透していませんが、他の計画の基になるものを作成したいと思います。委員として、どのような役割をしていけば良いのかと思われていますが、次の審議会になりましたら、評価の結果、アンケートの結果等を具体的にお示しして、ご意見をいただけるような環境を作りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

(前田会長)

- ・事務局より地域懇談会を充実させたいとの説明もありましたので、先程の質問にありましたように、地域に膝を交えてお答えする場もできる可能性があるのですね。老人クラブ等での意見もあれば、少しだけという説明でよろしいでしょうか。

(事務局回答)

- ・はい。

(委員)

- ・地域福祉計画の見直しが今回ありますが、他の計画の見直しはありますか。

(事務局回答)

- ・各計画とも開始年度と計画期間が異なっています。第4期障害福祉計

画は、一昨年に計画され平成27年から29年度の3年間の計画になっています。第6期介護保険事業計画も同様です。

(委員)

・(次回の審議会のある)10月までの委員としての関わりが漠然としていますがどうですか。

(事務局回答)

- ・それまでに委員としてのご意見があれば、事務局までお願いします。
- ・次回の審議会までに、本日配布しました第2期の地域福祉計画について、お目通しをお願いします。
- ・地域福祉計画で大切なことは、様々なネットワーク作りとボランティア等の福祉に携わる方の後継者作りが大切です。老人クラブにしてもそうですし、今年は、民生委員・児童委員の一斉改選があります。そうした、事象にも支障が出始めています。そこを重要なポイントとしてお願いします。

(前田会長)

- ・後継者づくりということで、もう少し若い人が意見を出せるように、事務局からのお願いもあるようで、是非、次回に意見を持ち寄っていただきたいと思います。

5 閉会あいさつ

(和泉副会長)

- ・皆さんに良い意見をたくさん頂戴しました。
- ・それぞれの持ち場で立場も違います。しかし、自分の担当する分野では、力を入れなくてはならないポイントは、分かっていると思います。
- ・「だれもが安心して暮らせる三木市」を目的として皆様に考えてもらいたいと思います。
- ・社会福祉協議会でも、困っている方はいないかな、手をさしのべるべき方はいないかな、そのためにはどうしたらよい良いのかをいつも考えております。
- ・誰にでも話しかけ、相談に乗れるように心がけています。
- ・この計画が完成しましたら、一步一步でも前に進んで行きたいと思っています。

- ・皆様のご意見・お知恵を拝借しながら進めてまいりたいと思います。
- ・本日は、ご出席ありがとうございました。